

親子で30分 自転車乗れた

自転車で風を切るのが気持ちよい季節。短時間で自転車に乗るコツを学べるという幼児向けイベントが人気です。親子が楽しくコミュニケーションをとる機会にもなっています。

教室 各地で人気

このイベントは「30分で乗れる自転車教室」。一般社団法人「親と子の課外活動部」(本部・神奈川県厚木市)が3年前から全国各地で開催している。3〜6歳が対象で、



ブレーキの使い方も学んだ＝東京都渋谷区の東急百貨店本店

教えるコツ 親も学ぶ

これまでに約2万人の子どもが参加した。

4月上旬、東京都内で開かれた回には計72組の親子が参加した。あいにくの小雨ながら、数十組のキャンセル待ちが出るほどの人気ぶりだ。

教室は前後半15分ずつ。前半のテーマは「バランスの取り方」だ。ペダルのない自転車に子どもがまたがって、歩き、曲がり、止まる。次第に足を地面から離して進めるようになっていった。後半は「ペダルのこぎ方」。インストラクター

1の「1、2、3、4!」という声に合わせて、親にハンドペダルを支えられながら子どもがペダルをこいで進む。前半でバランスの取り方を覚えてたためか、動きもスムーズだ。

最後は、20分先の親のところまで子ども1人でこいで行くの挑戦。東京都足立区の吉本巨成くん(4)はおそろおそろこぎ始め、次第に安定して見事ゴール。「やった!」。巨成くんとハイタッチした嘉也(か)くんは「家で教えてみたけれどなかなかうまくいかなかった。こんなに乗れるようになるなんて」。

上達には個人差があり、全員が30分で乗れるというわけではない。インストラクターの桜井優子さんは「30分で要領はつかめる。時間内におよそ半数のお子さんが乗れるようになります」と話す。親が参加するものこの教室

の特徴だ。たとえばバランス感覚を養うため、ペダルのない自転車に乗った子どもと追いかけてこぎをする。そもそも教室を開いた背景には「教え方がわからない」という親からの要望があった。親はここで教え方を学び、きょうだいの練習などに生かせる。

また、「30分」という時間も親のニーズをとらえているようだ。ある母親は「忙しくて練習させないでいたら周りの子が乗れるようになって……」と参加の動機を話す。桜井さんは「共働きや休日出勤で、練習にまとまった時間を割けない親も多いのではなか」と推測している。

「30分で乗れる自転車教室」は各地の公園や商業施設で開催予定。一部に有料、要予約の回も。詳しくはホームページ(<http://www.vitamin1.jp/30bike/>)。(坂井浩和)